

平成27年度第1回阪南市子ども読書活動推進会議 会議録

開催日時	平成27年7月6日（月） 午後2時
閉会日時	平成27年7月6日（月） 午後4時
会議場所	阪南市立図書館 視聴覚室
出席委員	森本 典子 会長 （阪南市子ども文庫連絡会代表）
	門野 沙奈恵 副会長 （生涯学習部学校教育課代表）
	橋本 一郎 委員 （市民公募）
	西野 豊子 委員 （市民公募）
	谷本 美由貴 委員 （阪南市みんなの図書館を考える会代表）
	福井 貴子 委員 （泉鳥取高等学校代表）
	寺田 有佳利 委員 （幼稚園代表）
	南 智珠子 委員 （保育所代表）
	宍道 恵子 委員 （子育て総合支援センター代表）
	油谷 優公 委員 （福祉部子ども家庭課代表）
	後藤 陽子 委員 （健康部健康増進課代表）
	竹中 宏子 委員 （生涯学習部生涯学習推進室代表）
加藤 靖子 委員 （生涯学習部図書館代表）	
事務局出席者	井上主幹、中山総括主事

案件1 委員紹介（委嘱状交付）

案件2 昨年度の子ども読書活動推進の取り組みについて

A委員 阪南市子ども文庫連絡会の取り組みの中で、2月24日に阪南市おはなしの会が開催した「近藤幸子氏特別講座」には、新たな参加者もあり、広がりを見せた。

B委員 つくし文庫では、たくさんのイベントを行った。昔遊びや行事イベントにも取り組み、異年齢集団ならではの楽しみがある。一方一人ですっと本を読んでいる子もおり、それぞれの楽しみ方ができている。
下荘地区では、1年後に小学校の整理統合が予定されており、下荘小学校の跡地への図書館分館設置の期待が高まっている。

A委員 図書館を考える会では、学校図書館専任司書がフルタイム配置された小学校（東鳥取）を見学し、司書が常駐することで、子どもたちの読書意欲が高まることを実感した。

C委員 保健センターでは、健診等の待ち時間に絵本を手にとっている親子の姿をよく見かける。昨年度の取り組みに特段変わった点はないが、ブックスタートは根付いていて、保護者の認識度も高い。

- D委員 子育て支援センターでは、地域の絵本サークル「ウエストバード」に協力を仰ぎ、絵本の読みきかせやわらべ歌を取り入れた「子育ておしゃべりサロン」を行っている。参加者も増え、好評である。「おやこであそぼうカレンダー」は800部印刷し、各所に配布している。情報があれば掲載する。
- E委員 公立保育所では、おはなしの会の様子を見てみると、子どもたちはよくお話を聞けており、0歳児でも、絵本をととてもよく見ている。
- F委員 私立保育園は、報告書のとおりである。
- G委員 公立幼稚園では、4月に家庭読書の日を宣伝するチラシを配布した。このチラシは、図書館に依頼して作成してもらったものである。各園、年1回「本となかよし」に参加しようとしている。おはなしの会の方や絵本サークルの読み聞かせをしてもらっている。体験入園や親子登園でも、絵本を取り入れている。
- H委員 小学校では、環境整備の部分はできることからいろいろ取り組んでいる。読書週間・図書の日・図書便りの「うち読コーナー」等色々な取り組みをしている。
- I委員 中学校では、朝読の取り組みを行っていない学校もあるが、読書週間には朝読に取り組んでいる。小学校のような図書の時間がないので、図書室に入る機会がなかなかない。
- H委員 小学校2校でフルタイムの学校図書館専任司書を配置でき、いつでも開いている図書室になったことで、5分休憩でも子どもが図書室に来るようになった。また、貸出冊数も増えた。中学生は、家でも忙しく、本を読む時間がないようだ。読みきかせの取り組みをしている学校もある。また、くつろぎスペースを設け、息抜きのできる場所、集団に入れない子どもの居場所となっている学校もある。くつろぎスペースは全校に設けたいが、スペースの都合でできていない。
- B委員 下荘チビッコにつくし文庫が出前文庫で訪問している。絵本と紙芝居をすることが多い。しっかりしたストーリーの絵本をすごい集中力で聞いてくれる。保育所からの顔見知りの子どものも多い。3年生が聞くと、つられて1年生もよく聞いてくれる。
- J委員 指定管理者と月1回の定例会があるので、その場で、指導者の読みきかせや、ボランティアの受け入れを提案し、下荘だけでなく他のチビッコでも読みきかせを推進していきたい。
- K委員 高校では、図書館は子どもの居場所でもあり、担任と口を利かない生徒でも、図書館ではくつろぐことができている。また、進路指導の役目も担っている。しかし、大阪府では橋下前知事の政策の影響で、高校の司書が減っており、閉まったままの学校図書館が増えている。
- L委員 図書館では、おはなし会スペシャル、工作教室等市民の協力を得た行事を行った。しかし、工作教室は読書推進につなげるのが難しい。自動車文庫での学校図書館専任司書の手伝いは、子どもたちに声掛けしてもらえるので、ありがたい。

案件3 今年度の子ども読書活動推進の取り組みについて

事務局 (別紙資料に基づき、説明)

今年度も、昨年同様取り組みを記録していただき、報告をお願いする。締め切りは来年2月中旬ごろである。

案件4 | 事務連絡

事務局 (読みメン講演会&講座について、別紙資料に基づき説明)

チラシ配布等、協力をお願いします。

終了